

東京都生活学校連絡協議会
40周年記念誌



会長挨拶

東京都生活学校連絡協議会もスタートして40年あまりが過ぎ去りました。ここまで長く続けられたのも、諸先輩方の努力のたまものであり、ここに改めまして感謝を申し上げます。さて、長年にわたり都内各地で活動してきました生活学校も、近年は主体メンバーの高齢化もあり、残念ながらその数も減少の一途を辿っております。生活学校運動が必要とされ、活況を呈した時代とは、社会そのものも大きく変わって来ており、その中での生活学校運動そのものの意義の問い直しが突きつけられているところです。そして、現在の社会状況を考えると、様々な新たな課題も見えてきています。

子孫世代に禍根を残さないための地球温暖化対策、この2年あまり全世界を震撼させ続けている新型コロナウイルス感染爆発など地球規模の危難、国内に目を向ければ少子高齢化の進行そしてそれに伴う人口減少も課題となっています。これらの課題については、政治、行政のみならず社会全体として、解決に向けて取り組まなければならず、一人一人が我が事として向き合わなければなりません。東京都生活学校連絡協議会としても、これらの課題に対して積極的な取り組みを進めて行くことが必要です。

他方、東京都生活学校連絡協議会では、東京オリンピック・パラリンピックに合わせ、創立40周年の記念行事として《お手玉プロジェクト》を計画し、そのための準備活動も進めてまいりました。しかし、ご承知のように、新型コロナウイルス感染拡大によりオリンピック・パラリンピックは1年間延期され、また昨年の開催に際しても感染拡大により、無観客での大会実施を余儀なくされました。残念ながら、準備を進めてきた《お手玉プロジェクト》も全て中止とせざるを得ませんでした。また、創立40周年の祝賀行事も再三の延期をしてまいりましたが、本年2月に実施すべく準備を進めてきましたが、これも新型コロナウイルスのオミクロン株の感染拡大により、中止とせざるを得ませんでした。

ここに、30周年以降の活動を中心に、活動の様子を小冊子にまとめさせていただきました。思い出のよすがとしてご覧いただければ幸いです。

最後になりますが、これまで、様々な場面での様々な活動と共に、東京都生活学校連絡協議会の活動にも積極的に貢献していただきましたことに感謝を申し上げます。

令和4年3月

東京都生活学校連絡協議会会長 田丸せつ子



40周年を祝して

40周年おめでとうございます。

私たちが生きるこの世の中、日々変化は止まりません。ここ2年あまり、日本のみならず全世界で猛威を振るった新型コロナウイルスによる感染症、目に見えない微細なウイルスに一人として恐怖を感じず生きることはできなかったと言っても過言ではありません。有史以来人類は、ペスト菌、スペイン風邪等々の感染症の恐怖にさらされてきましたが、今私たちが、その感染症に直面させられるとは想像できなかったことではないでしょうか。

そしてまだ終息が見えない中、ロシアによるウクライナ侵攻が起きました。21世紀の今、大国が正面切って武力による侵略を始めるとは、これも想像外の出来事でした。第二次世界大戦が終息してから77年になりますが、その教訓を生かせず愚かな戦争を始めるとは信じがたい思いです。

さらに少し時間軸を遡れば、この40年間には阪神淡路大震災、東日本大震災という巨大地震、津波の甚大な自然災害にも見舞われています。1995年(平成7年)の直下地震による神戸を中心とした都市の壊滅的破壊、2011年(平成23年)の太平洋沿岸での広範囲での大津波被害、更にそれによって引き起こされた福島第一原子力発電所処理については、いまだに収束が見えません。

これら繰り返される惨事に打ちのめされながらも、これまで私たちは何とか英知を結集して、幾度も幾度も乗り越えてきました。しかしながら、それらの惨事をはるかに上回る、大げさに言えば地球存亡の危機がじわじわと迫ってきています。地球温暖化とそれに伴う気候変動の問題です。今、既に世界各地で異常気象としてさまざまな影響が生じてきていますが、より深刻的な影響は30年、50年、100年先の子孫世代が蒙ることになります。現状での対策の如何によって、未来世代の生活、場合によっては生命さえも左右するのです。

長い人類の歴史を経て培われてきた人類の英知を、今、危機克服のために地球一丸となって働かせなければなりません。私たち一人ひとりも現状を認識し、少しでもできることをその経験と学びを糧として発揮することが求められています。そして、東京都生活学校連絡協議会におかれましては、その40年を越える取組みの実績、学びの集積から大いなる貢献が期待されるところです。

皆様方のご健勝とご活躍を祈念いたします。

令和4年6月

東京のあすを創る協会 事務局長 藤本 龍夫



これまでのあゆみ

年度	沿 革	学校数
昭和45年(1970)	多摩地区生活学校連絡協議会発足	146
昭和47年(1972)	23区生活学校連絡協議会発足	172
昭和53年(1978)	東京都生活学校連絡協議会発足(23区と多摩地区が統合 略称:都生連) 生活学校大会「省資源・ゴミ問題を考える」(東京都勤労福祉会館) 谷茂岡正子会長就任	164
昭和54年(1979)	生活学校大会「省エネルギーに関する当面の取り組み」(中野サンプラザ)	161
昭和55年(1980)	〃 「無リン合成洗剤は果たして安全か」(新宿区文化センター) 滝島そふ会長就任	
昭和56年(1981)	生活学校大会「空き缶のリサイクルシステムを考える」(家の光会館)	165
昭和57年(1982)	〃 「高齢化社会に向けての行政の役割」(家の光会館)	163
昭和58年(1983)	〃 「老人介護体験発表・老人問題」(家の光会館)	162
昭和59年(1984)	〃 「在宅福祉の充実をめざして」(家の光会館)	155
昭和60年(1985)	〃 「在宅介護の充実をめざして」(東京都商工会議所ホール)	
昭和61年(1986)	〃 「高齢者と消費生活」(東京都勤労福祉会館)	150
昭和62年(1987)	竹腰里子会長就任 生活学校大会「高齢者向け食品の少量販売など」	157
昭和63年(1988)	〃 「高齢者社会への対応」	140
平成元年(1989)	創立10周年記念事業(祝賀会・記念誌発行) ブロック研究集会「高齢者問題・補佐メンバーの役割」(埼玉県:秩父農園ホテル)	137
平成2年(1990)	吉岡幸子会長就任 ブロック研究集会「省資源省エネ環境問題、高齢化問題」(千葉県:幕張オプタ)	
平成3年(1991)	石井治子会長就任 ブロック研究集会「くらしやすい町づくりと運動」(静岡県:ホテル伊豆高原)	
平成4年(1992)	〃 「今こそ生活学校の出番」(神奈川県:いこいの村あしがら)	130
平成5年(1993)	〃 「環境問題、高齢者問題」(新潟県:ホテルみのや)	127
平成6年(1994)	谷茂岡正子会長就任 ブロック研究集会「生活優先社会の創造をめざして」(山梨県:シティプラザ紫玉苑)	119
平成7年(1995)	〃 「災害と地域のまちづくり」(長野県:戸倉白馬園)	107
平成8年(1996)	〃 「生活学校運動の現状と課題」(静岡県:おおとり荘)	109
平成9年(1997)	〃 「逞しく生き活きとした生活学校運動」	
平成10年(1998)	循環型社会をめざして アンケート集計結果(12月)	86
平成11年(1999)	創立20周年記念事業(祝賀会・記念誌発行) 「容器包装リサイクル法」についてのアンケート集計結果(12月)	78
平成12年(2000)	中島マサ会長就任 「人間性豊かな地域づくりをめざして調査報告書」(12月)	79
平成13年(2001)	「人間性豊かな社会の創造調査報告書」(14年2月)	78
平成14年(2002)	鈴木和子会長就任 「学校週5日制と地域活動調査報告書」(15年2月)	
平成15年(2003)	「介護保険制度のその後を追って」(15年4月)	74
平成16年(2004)	「環境問題・高齢者問題・子育て支援について-調査報告書」(17年2月)	72
平成17年(2005)	「21世紀の寿命-レジ袋調査の報告書」(18年2月)	67
平成18年(2006)	田丸せつ子会長就任 対話集会「あなたの老後は安心ですか、ごみ減量に向けて」	63
平成19年(2007)	創立30周年記念事業(祝賀会・記念誌発行) 対話集会「熟年のライフスタイルを持とう、地球温暖化の原因と現況」	61
平成20年(2008)	〃 「地域の福祉力を向上させるために、食の見直し」	53
平成21年(2009)	〃 「認知症を理解し、介護のこと考えてみよう、CO ₂ を削減しよう！」	49
平成22年(2010)	〃 「老後はひとりでもこわくない、もったいない！」	40
平成23年(2011)	〃 「食の安全情報を考える、省エネ推進・エコライフのまちづくりをめざそう」	38
平成24年(2012)	〃 「高齢者の買い物支援、見直そう食品の表示」	
平成25年(2013)	〃 「高齢者の日常生活の暮らしを助けるために、食品ロス減少をめざして」	37
平成26年(2014)	〃 「地域の医療・介護の専門家と協働して、食品ロスの削減をめざして」	39
平成27年(2015)	〃 「地域住民がお互いに支え合い助け合う、フードロスを削減するため」	34
平成28年(2016)	〃 「地域包括支援センターの現状を知ろう、フードロス減少をめざして」	32
平成29年(2017)	〃 「地域包括支援センターの現状を知ろうⅡ、食品ロス減少をめざして」	27
平成30年(2018)	〃 「食品ロス減少をめざして フードドライブ・子ども食堂」	25
令和元年(2019)	〃 「食を通じた子どもの居場所づくり」	
令和2年(2020)	講演会「プラスチックによる海洋汚染 わたしたちにできること」	21
令和3年(2021)	〃 「地球環境の保全に向けて バイオマスを活用した様々な取組」	19
令和4年(2022)	創立40周年記念事業(記念誌発行)	

平成19(2007)年度

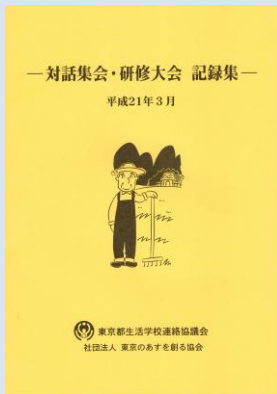


対話集会(高齢者部会) 平成19年10月3日
 「熟年のライフスタイルを持とう -健康・生き甲斐・地域支援-」
 対話集会(環境部会) 平成19年10月30日
 「地球温暖化の原因と現況 -レジ袋削減に向けて-」
 東京都生活学校研修大会 平成19年12月5日
 「熟年のライフスタイルを持とう」 佐藤さく子(昭和町生活学校)
 「地球温暖化の原因と現況」 鈴木三枝子(わか草生活学校)

<主な出来事>

- 社会保険庁、年金記録未統合5,000万件判明
- 米サブプライムローン問題、国際金融市場揺るがす

平成20(2008)年度



対話集会(高齢者部会) 平成20年10月6日
 「地域の福祉力を向上させるため -あなたの行動と支援-」
 対話集会(食部会) 平成20年11月14日
 「食の見直し -食の循環を考える-」
 東京都生活学校研修大会 平成21年2月2日
 「地域の福祉力を向上させるために」 長壁美千子(氷川生活学校)
 「食の見直し」 久万千鶴(日野第一生活学校)

<主な出来事>

- 日本人4氏(益川敏英、小林誠、南部陽一郎、下村脩)にノーベル賞
- 米大統領選でオバマ選出(米国初の黒人大統領)
- 米証券大手リーマンブラザーズ経営破綻

平成21(2009)年度



対話集会(高齢者部会) 平成21年9月28日
 「認知症を理解し、介護のことを考えてみよう -介護に対する心構えと、うまく暮らしていくための備え-」
 対話集会(環境部会) 平成21年11月9日
 「CO₂を削減しよう -身近なところから-」
 東京都生活学校研修大会 平成22年2月3日
 「認知症を理解し介護に対する心構えとうまく暮らしていくための備え」 磯村紀代子(永福の会生活学校)
 「CO₂を削減しよう」 谷村雅子(馬込生活学校)
 講演「東京の水道水 -安全でおいしい東京水」
 細川善樹氏(東京都水道局サービス推進部広報サービス課長)

<主な出来事> ○裁判員制度開始

- オバマ米大統領にノーベル平和賞。「核なき世界」訴える

平成22(2010)年度



対話集会(高齢者部会) 平成22年9月27日
 「老後はひとりでもこわくない -いつまでも安心して、住みなれた地域でくらしたい-」
 対話集会(環境部会) 平成22年10月25日
 「もったいない! -食品ロスをへらそう-」
 東京都生活学校研修大会 平成23年2月3日
 「老後はひとりでもこわくない」 長壁美千子(氷川生活学校)
 「もったいない」 熊代聖子(汝の花生活学校)
 講演「もっと知りたい食情報-食品ロスをへらそうパートII」
 渡部浩文氏(東京都福祉保健局健康安全部食品医薬品情報担当課長)

<主な出来事> ○東日本大震災発生(平成23年3月11日)

- 尖閣沖で、中国漁船が海保の巡視船に衝突。映像がネット流出

平成23(2011)年度



対話集会(食部会) 平成23年10月21日

「食の安全情報を考える」

対話集会(環境部会) 平成23年11月15日

「省エネを推進しエコライフのまちづくりをめざそう」

東京都生活学校研修大会 平成24年2月6日

「食の安全情報を考える」 安西美佐子(北浅草わかば会生活学校)

「省エネを推進しエコライフのまちづくりをめざそう」 熊代聖子(汝の花生活学校)

「市川芳正東京のあすを創る協会会長と語る会」

＜主な出来事＞ ○なでしこジャパン、サッカーW杯優勝
○「アラブの春」(中東・北アフリカ地域の民主化運動)で独裁体制崩壊

平成24(2012)年度



対話集会(高齢者部会) 平成24年9月24日

「高齢者の買い物支援 -高齢者等の日常の暮らしを助けるために-」

対話集会(食部会) 平成24年10月22日

「見直そう、食品の表示 -新たな表示制度の検討の機に際して-」

東京都生活学校研修大会 平成25年1月18日

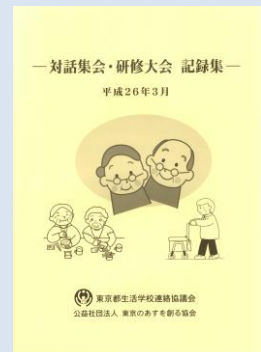
「高齢者の買い物支援」 中筋桂子(初台生活学校)

「見直そう、食品の表示」 安西美佐子(北浅草わかば会生活学校)

落語 「前を向いて歩こう、ほめあげ商法、マルチ商法等」

＜主な出来事＞ ○山中伸弥氏にノーベル医学生理学賞
○習近平体制発足 ○金正恩体制発足

平成25(2013)年度



対話集会(食部会) 平成25年9月20日

「一般家庭のフードロス減少をめざして」

対話集会(高齢者部会) 平成25年11月8日

「地域支援の充実をめざす -高齢者等の日常の暮らしを助けるために-」

東京都生活学校研修大会 平成26年2月7日

「一般家庭のフードロス減少をめざして」 熊代聖子(汝の花生活学校)

「地域支援の充実をめざす」 村田芙恵美(瑞穂生活学校)

フリートーク・カフェ 「さらなる一歩を踏み出そう！-生活学校運動とわが人生」

＜主な出来事＞ ○安倍政権「アベノミクス」が始動
○異次元の金融緩和で円安・株高
○元CIA(米中央情報局)職員スノーデンが、米情報収集活動を暴露

平成26(2014)年度



対話集会(食部会) 平成26年10月6日

「食品ロスの削減をめざして」

対話集会(高齢者部会) 平成26年11月10日

「地域支援の充実をめざす -地域の医療・介護の専門家と協働して支援する地域づくりをめざして-」

東京都生活学校研修大会 平成27年2月6日

「食品ロスの削減をめざして」 熊代聖子(汝の花生活学校)

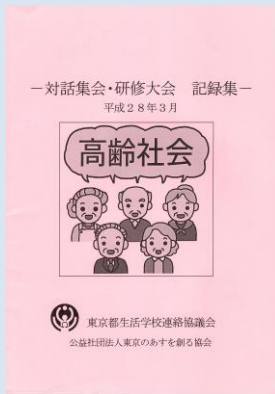
「地域支援の充実をめざす」 村田芙恵美(瑞穂生活学校)

講演 「環境に配慮した食の自立と五感の育成」

安部憲昭氏(皇居外苑楠公北の丸レストハウス総支配人・総料理長)

＜主な出来事＞ ○消費税率8%に引き上げ
○日本人3氏(赤崎勇、天野浩、中村修二)にノーベル物理学賞
○御嶽山が噴火 ○韓国旅客船「セウォル号」沈没

平成27(2015)年度



対話集会(食部会) 平成27年10月5日
「食生活の改善をめざす -フードロスを削減するために何ができるか-」
対話集会(高齢者部会) 平成27年11月9日
「地域支援の充実をめざす -地域住民がお互いに支え合い、助け合うことが出来る仕組みづくりを-」
東京都生活学校研修大会 平成28年2月3日
「食生活の改善をめざす」 熊代聖子(汝の花生活学校)
「地域支援の充実をめざす」 村田芙恵美(瑞穂生活学校)
講演 「卒婚-人生100年時代美しく強く生きる毎日を楽しみ発見する」
大輪育子氏(大輪ブライダル代表)

<主な出来事> ○安全保障関連法成立
○COP21でパリ協定採択(世界の平均気温上昇を2度未満に抑える)
○大村智氏にノーベル生理学・医学賞、梶田隆章氏にノーベル物理学賞

平成28(2016)年度



対話集会(食部会) 平成28年10月7日
「フードロス減少をめざして」
対話集会(高齢者部会) 平成28年11月7日
「地域支援の充実をめざして-その後の支援包括支援センターの現状を知ろう-」
東京都生活学校研修大会 平成29年1月30日
「フードロス減少をめざして」 村田芙恵美(瑞穂生活学校)
「地域支援の充実をめざして」 熊代聖子(汝の花生活学校)
講演 「知って得するお口の話-健康長寿のカギはお口にあり」
井上恵美氏(歯科衛生士)

<主な出来事> ○熊本地震発生 ○米大統領選ドナルド・トランプ勝利
○大隅良典氏にノーベル生理学・医学賞

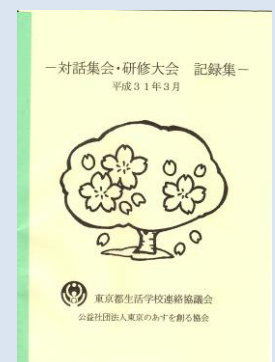
平成29(2017)年度



対話集会(食部会)「食品ロス減少をめざして」 平成29年10月2日
対話集会(高齢者部会) 平成29年11月6日
「地域支援の充実をめざして-その後の支援包括支援センターの現状を知ろうⅡ-」
東京都生活学校研修大会 平成30年2月5日
「食品ロス減少をめざして」 村田芙恵美(瑞穂生活学校)
「地域支援の充実をめざして」 熊代聖子(汝の花生活学校)
講習会 「災害に役に立つLPガス-LPガスの利便性と効果を知る」
嘉村 潤氏(一般財団法人エルピーガス振興センター専務理事)

<主な出来事> ○九州北部豪雨発生 ○韓国、文在寅政権発足
○マクロン新大統領は39歳で、フランス史上最年少の大統領となる

平成30(2018)年度



対話集会(食部会) 平成30年10月5日
「食品ロス減少をめざして-フードドライブ・子ども食堂-」
東京都生活学校研修大会 平成31年1月25日
講演 「川下から見た循環型社会」
戸部 昇氏(株式会社トベ商事代表取締役社長)

<主な出来事> ○西日本豪雨発生
○米朝が史上初の首脳会談
○7月埼玉県熊谷市で史上最高気温となる41.1度を記録する
○本庶佑氏にノーベル生理学・医学賞を受賞

平成31(2019)年度/令和元(2019)年度



対話集会 令和元年10月18日
 「食を通じた子どもの居場所づくり」
 宮嶋貴道氏(北区社会福祉協議会子ども支援担当)
 中筋桂子(初台生活学校)
 宮代幸枝(長谷戸生活学校)

<主な出来事> ○5月1日皇太子徳仁親王が天皇に。令和へ改元。
 ○台風15号、19号による河川氾濫、暴風で甚大な被害
 ○世界遺産・首里城が火災により正殿と北殿、南殿が焼失
 ○令和2年1月、イギリスがEUを離脱する
 ○令和2年3月、2020東京五輪の1年延期を決定



講演会 令和2年11月16日
 講演「プラスチックによる海洋汚染～わたしたちにできること～」
 小島あずさ氏(一般社団法人JEAN事務局長)

<主な出来事>
 ○全世界で新型コロナウイルス感染が広がり、感染者が1000万人突破
 ○レジ袋有料化スタート
 ○安倍首相が辞任し、菅新首相が誕生
 ○米大統領選でトランプにバイデンが勝利



講演会 令和3年12月10日
 講演「地球環境の保全に向けて～バイオマスを活用した様々な取組～」
 菅原良氏(一般社団法人日本有機資源協会事務局次長)

<主な出来事>
 ○1年遅れでオリンピック・パラリンピックが開催される。感染第5波が猛威を振るったために、ほとんどの競技が無観客で行われた。
 ○変異ウイルス・オミクロン株の感染が広がる。ワクチンは3回目接種へ。
 ○令和4年2月、ロシアがウクライナに軍事侵攻する。

令和2(2020)年度

令和3(2021)年度



40周年 ひとことコメント

六郷生活学校(大田区)

運営委員長 戸塚みその

【設立】 昭和53年4月1日 【メンバー数】 30人
【活動テーマ】 生活に役立つ生活学校を目指して
【活動内容】 学習会、見学会、特別養護老人ホーム
蒲田ボランティア、南六郷児童館すくすくネット参加
【課題及び今後取り組んでみたいこと】

(1)課題 会員の高齢化

(2)今後取り組んでみたいこと 健康問題。いつまでも
元気でいられるように

【都生連40周年に寄せて】

都生連40周年、おめでとうございます。六郷生活学校は、今から43年前に、矢野瑞哉現大田区生活学校連絡協議会会長が設立し、大田区教育委員会(現在は地域力推進部)の協力もあり、アルミ缶回収や環境問題を中心に活動し、現在に至っています。当時は、女性の地位も低く、先輩たちは苦労もあったと思いますが、それでも時代に合った活動を続けてきました。今は、生活や考えも多様化し、生活学校運営も課題もありますが、前を見つめて活動していきたいと思います。

あおば生活学校(大田区)

運営委員長 國定智恵子

【設立】 昭和57年5月20日 【メンバー数】 30人
【活動テーマ】 「五恵をめざして」健康・交友・希望・工夫・感動

【活動内容】 地域の方々と共に「よりよい生き方」を求めている活動としてスタートしました。2000年5月より地域の子供達にも元気で成長して欲しいとの願いを込めて私たちの子育て経験を生かして児童館との交流をスタートしました。現在では、地域の3児童館で各々週1回手作り工作などを子供達と一緒に取り組んでいます。小学校のサマースクールにも参加しています(4校)。

【課題及び今後取り組んでみたいこと】

(1)課題 最も身近な問題は、会員の高齢化により新会員の確保が難しいことです。

(2)今後取り組んでみたいこと 現状を見ながら、あおば生活学校のモットーである「出来る時」に「出来るだけ」「出来る事」を実行し、より良い生活のためにまた子供達のふれあいの場として活動を継続していきたい。

【都生連40周年に寄せて】

都生連40周年誠におめでとうございます。これまで40年間、都生連を育てていただきました諸先輩方本当にご苦労様でした。長い歴史の中において時代の変化とともに活動の内容も変わったことと思います。現在においては、高齢化の波に流されそうになりつつありますが、私たちにしか出来ない活動を続けられますようお力添えをよろしくお願い申し上げます。

大森生活学校(大田区)

運営委員長 岩口悦子

【設立】 昭和61年4月 【メンバー数】 23人

【活動テーマ】 明るい地域を目指す

【活動内容】 地域に根をおろし、明るい地域を目指して活動してきました。地域の清掃、ゴミの減少、子ども達に昔遊び、戦時中の話など語り伝えて来ました。今年は、コロナのため中止になってしまいました。今は、高齢者や区民の皆さんが孤立や孤独により健康被害や孤独死などの少しもないように活動しています。

①健康維持(生涯自分の足で歩けるように)

②物語会議(井戸端会議)、皆で語り合い、人生の価値再発見意欲の向上

【課題及び今後取り組んでみたいこと】

(1)課題 大田区内を知ろう。

(2)今後取り組んでみたいこと 地域の史跡巡りをしたい。

【都生連40周年に寄せて】

40周年おめでとうございます。一言で40年と言うとあっという間であり、もう40年とも言える年月です。身近な暮らしの中の問題を取り上げ、共に調べ学ぶことが出来たことは大変有意義であったと感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございました。

馬込生活学校(大田区)

運営委員長 谷村雅子

【設立】 平成3年6月 【メンバー数】 20人

【活動テーマ】 いきいきと地域に生きる

【活動内容】 ①学習会、②料理教室、③見学会

地域の方に声をかけて、楽しく皆で学び合い、体験し合うことを続けてきました。地域の活性化のために、役に立っていききたいと思います。

【課題及び今後取り組んでみたいこと】

(1)課題 メンバーの高齢化と、新しい会員がなかなか増えないことが課題です。

(2)今後取り組んでみたいこと 次世代のために役に立つことを考えて、取り組んでいきたいと思っています。地域でのフードドライブ等

【都生連40周年に寄せて】

40周年おめでとうございます。いつも大変お世話になり、先輩達にたくさん教えていただくことができました。本当にありがとうございました。一つ一つの生活学校は、独立してそれぞれの地域で活動に力を注いでいますが、活動の意味や価値を表す集合体が都生連ではないのでしょうか。今後よろしくお願いいたします。

初台生活学校(渋谷区)

運営委員長 後藤裕子

〔設立〕 昭和44年6月25日 〔メンバー数〕 29人

〔活動テーマ〕 環境問題

〔活動内容〕 食品添加物、洗剤、化粧品等の公害問題や老後の生活設計や成人病、ゴミ問題、プラスチックの安全性などの学習をする。対話集会、他県交流、大気汚染(NO₂)や酸性雨の測定。レジ袋削減、マイバッグ持参運動始める。リサイクルバザールに出店、渋谷区くみんの広場に参加。「生活学校・生活展」には、リフォームファッションショーを披露。料理教室や講演会も数回実施。東日本大震災の時は福島県葛尾村への復興支援や交流。「ひとりぐらし老人お食事会」、「初台キッズ食堂」、「フードドライブ」実践・稼働中です。

〔課題及び今後取り組んでみたいこと〕

(1)課題 主体メンバーが高齢化し、活動内容に影響が出る可能性があります。

(2)今後取り組んでみたいこと 今までにやってきたことや「ひとりぐらし老人お食事会」、「初台キッズ食堂」、「フードドライブ」の活動を継続し、地域のイベントや交流、学習会などのへの参加を継続していきたい。

〔都生連40周年に寄せて〕

この度、都生連が40周年を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。常に社会情勢に合った講演会等での問題提起、それを学び地域活動に生かす原動力となりました。「生活展」におきましては、リフォームファッションショーの折、田丸会長にはモデル出演をしていただき、私たちの大事な宝物になっております。渋谷区基本構想にもあるように、「ちがいを力に変える街。渋谷区」と、私たちも地域に密着したボランティアとして人を育み、生かすような活動を提起し、実行することが求められていると思います。各地域で生活学校の活動がますます広がり発展することを、次世代の主体メンバーの皆様に期待すること大です。初台生活学校50数年の長期を無事に終え、またその歩みを進めます。課題山積の現在、生活学校運動は大切なことです。笑顔で暮らせる未来の地球を願って、しっかり活動してまいりたいと存じます。今までと同様に皆様の温かいご支援ご協力をお願いいたします。



本町生活学校(渋谷区)

運営委員長 三原庸子

〔設立〕 昭和44年4月 〔メンバー数〕 27名

〔活動テーマ〕 環境と生活(防災・防犯。環境問題・脱炭素)

〔活動内容〕 毎月第2土曜日、本町区民会館に於いて定例会とフードドライブの受付、その他

○身近な政治「地域の問題点を探る」

・(本町学園について)本町学園の横に、放課後クラブ(令和5年9月 建設、令和6年4月 開設予定)

・本町学園第2グラウンドに、体育館を含む複合施設を建設(令和7年4月 開設予定)

○講演会後、親子映画会・万華鏡作り。小物作り。

〔課題及び今後取り組んでみたいこと〕

(1)課題 ○コロナ禍の中、活動・行事を選定の上、実施しています。

○若い人を入会させたが、コロナ禍のため、生活状況が変化し昼夜働いており、子ども達だけで留守番をしているので心配です。

○経済が不安定な状況の中、ボランティアをどう進めていくか考慮している。

(2)今後取り組んでみたいこと 防災と防犯に力を入れ地域の方々がお互いに協力し合って本町生活学校から「わんわんパトロール」を実施する。区と東京都(都民安全推進課)が連携して活動します。

〔都生連40周年に寄せて〕

都生連40周年を迎えるに当たって、多くの先輩の皆様方が44年間、継続されたことに深く感謝し改めてお祝いの言葉を述べさせていただきます。おめでとうございます。「継続は力なり」です。生活学校は、その時代の社会情勢に合わせ、その先端で今何が起きているのか、今何を求めているのか、今何をすればいいのか、それを考え講演会を実施する。その中で参加者の方々から意見を聞くことも大事だと思います。問題提起の大小に関わらず解決策を見つける努力が必要だと思います。長年それをやってきたからこそ、生活学校が続いているのだと思います。これからも末永くよろしくお願いいたします。

氷川生活学校(渋谷区)

運営委員長 長壁美千子

[設立年月日] 昭和47年5月 [メンバー数] 21名
[活動テーマ] 「環境とくらし」～3世代交流で、安心・安全のまちづくり～ 元気で 仲良く 無理なく 100歳までを目指して！！
[活動内容] ふれあい・いきいきサロン「リフレッシュひろば」(毎月1回) 社協
○子ども食堂2か所運営 「リフレッシュ氷川子ども食堂」(毎月1回)、「美竹の丘こども ごはん」(毎月1回)
○「環境教室」エコクッキング開催((株)東京ガス)(年3～4回)食品ロス・食育他 ○フードドライブ(毎月1回)
○ミニミニコンサート(年1回) ○～変わりゆく渋谷駅周辺～(東急)他
[課題及び今後取り組んでみたいこと]
(1)課題 後継者不足(中高年の就業と若者世代の関心の無さ)
(2)今後取り組んでみたいこと 現在の活動をより良く継続すること
[都生連40周年に寄せて]
都生連40周年！！心よりお祝い申し上げます。都生連では、副会長・書記・監査の役にも就かせていただきました。当時は、会員数も多く、楽しく活動出来たことが、懐かしい思い出となっています。令和3年度に、氷川生活学校も50周年！！を迎えました。「満足は衰退の第一歩」、何時まで活動の継続が出来るのか？サブタイトル「元気で、仲良く、無理なく100歳まで」をモットーに、主体メンバー一同、地域活動に精進したいと思います。最後に、都生連のますますのご発展をご祈念いたします。

長谷戸生活学校(渋谷区)

運営委員長 宮代幸枝

[設立] 昭和61年4月 [メンバー数] 19人
[活動テーマ] 子ども食堂、高齢者支援活動、住みよい環境づくり、食品ロス削減運動(フードドライブ)、地域のイベントに参加協力
[活動内容] 子ども食堂月1回第3金曜日、食品ロス削減・フードドライブ月1回第4月曜日、学習会、健康で活躍するには体を動かす体操フレイル体操、元気になる学習会等、地域での住みよい環境のために多くの人と知り合うようイベント等に参加協力をする。
[課題及び今後取り組んでみたいこと]
(1)課題 高齢化のため、活動が大変難しくなり、また、コロナ禍で特に集まるのが大変です。
(2)今後取り組んでみたいこと サロンを立ち上げていくこと。
[都生連40周年に寄せて]
都生連40周年おめでとうございます。新型コロナウイルスのために、オリンピック・パラリンピックが延期になり、皆さんで作ってオリンピックの方々にと作った「お手玉」1年延びていろいろなイベントもなくなり、本当に残念な2年間でした。コロナ禍での活動は大変ですが、力を合わせて生活学校がまた違った角度で地域の内で活動をしながら仲間づくりが出来たらと思っています。

中幡生活学校(渋谷区)

運営委員長 服部京子

[設立] 平成8年4月1日 [メンバー数] 14人
[活動テーマ] 地域の高齢者と子どもとの三世代交流
[活動内容] 月1回 定例会(8月休み) 中幡小学校で月1回、昔遊びPTA主催「中幡っ子フェスタ」昔遊び(羽根つき、こま等)を担当。担当学習会(年3回)フレイル(高齢による虚弱体質)について・健康体操・口腔歯科衛生・防犯・防災・手先を使った作品作り(折紙教室、マスク作り)等
[課題及び今後取り組んでみたいこと]
(1)課題 男性の参加(特技を活かしてもらい)、いろいろな世代に生活学校行事や学習会に参加してもらうこと。
(2)今後取り組んでみたいこと 生活学校の活動を地域の方々への啓発活動により一層取り組んでいきたい。元気で介護を受けていない地域の高齢者に行事に参加してもらえるよう話し、引きこもりにならないよう声掛けをする。
[都生連40周年に寄せて]
私たち生活学校は、環境問題やリサイクル・食の安全、少子高齢化・介護・防災・貧困問題など多岐にわたるテーマを先取りして設定し先見性の高さや課題を学習・調査・討議してきました。特に、フードロス削減運動、レジ袋削減・マイバッグ持参運動など社会的な課題解決となり、一人ひとりが関心を持ち実行する人が多くなればよいと願います。これからも地域生活における不安や素朴な疑問について話し合い、長年培われた経験を十分に活かしていきたいと思っています。

汝の花生活学校(杉並区)

運営委員長 熊代聖子

[設立] 平成3年5月3日 [メンバー数] 9人
[活動テーマ] 良い年の取り方
[活動内容] ①地域の小学校4年生～6年生児童が地域の高齢者の方々へ励ましのお手紙を書く活動。
②年3回(5月、12月、3月)をお年寄りの方々と共にケーキ作りをして楽しく過ごす。
[課題及び今後取り組んでみたいこと]
(1)課題 高齢者の方々の人数は変化がないことに比べ、若い方が仕事を持つことが多くなり、地域教育まで手が回せず、メンバーが年寄りばかり・・・。
(2)今後取り組んでみたいこと 女性の生活学校に対し、生活会議の方々には若い方々も多く見習っている現場から、横浜のように生活会議の中に生活学校も参加して活動してみたいです。
[都生連40周年に寄せて]
①今から53年前、長男が地域の小学校に入学(当時35歳)した女性校長(宇多校長)から、地域教育推進委員会の勉強会にお誘いいただき、地域教育の実践活動に励んでまいりました。②現在も、杉並地域教育に参加していますが、以前と違って女性も仕事を持っている方々が多く、地域教育に参加していただく方が少なくなってきました。③現在、私は、横浜に住んでいます。横浜には生活学校はなく、生活会議の中に入っていて合同で実践していることを見るたび、合同でできる地域活動を考えているところです。

喜多生活学校(北区)

運営委員長 小笹悦子

[設立] 昭和55年4月 [メンバー数] 18人

[活動テーマ] 高齢と食生活

[活動内容] 北区で実施される活動に参加させてもらう。メンバーが少数になり、独自で大きな課題に取り組めないため。牛乳パックから手すきはがき作り。

[課題及び今後取り組んでみたいこと]

(1)課題 地域の福祉施設に出向き、一緒にはがき作りをしているが、メンバーの高齢化が問題

(2)今後取り組んでみたいこと 地域でのグループ活動

[都生連40周年に寄せて]

40周年おめでとうございます。私ども、喜多生活学校は42年目を迎えました。振り返って、若かった時代、活動に燃えていました。当時、50名以上がそれぞれのグループに分かれて活動したり、講師をお招きしての学習会、施設見学会、周年で宿泊研修、沢山の方々のご指導をいただき、また、行政の皆様のご指導、ご協力があったればこそと感謝いたしております。長く続くことの喜びは、初めから役員として活動を共にしてきた力強い味方、協力者があってこそ、そして参加してくださった会員に方々に深く感謝しております。高齢化に伴い、会員も減少、残りの活動を頑張っていきたいと思ひます。東京都生活学校連絡協議会の益々の発展を心より祈願いたしております。ありがとうございます。

あすか生活学校(北区)

運営委員長 田丸せつ子

[設立] 昭和58年4月 [メンバー数] 20人

[活動テーマ] 次の時代に生きる子ども達を応援

[活動内容] 西ヶ原小学校で1年生から6年生に授業(年間48時間)。日本の伝統文化、環境、家庭科の授業、技術、知識、本物に接する実体験を通じ、理解してもらっている。

[課題及び今後取り組んでみたいこと]

(1)課題 メンバーの高齢化

(2)今後取り組んでみたいこと 現在の活動を引き続き行っていききたいと思ひます。

[都生連40周年に寄せて]

40周年、誠におめでとうございます。新型コロナウイルス感染拡大のため、昨年、本年と活動が思うようにできない異例の事態に直面しました。東京オリンピック・パラリンピック開催時に予定していたイベントも実施できませんでした。選手に渡すお手玉づくりをしてきましたが、ほとんどの競技が無観客で開催され、選手との接触やふれあいがままに終わりました。結局、お手玉も手渡すことができず、残念な思いをしました。都生連40周年は、私たちにとっても大きな節目となりますので、これを契機に、また心機一転して活動に取り組んでいききたいと思ひます。ありがとうございます。

影絵生活学校(北区)

運営委員長 疋田百合子

[設立] 平成元年4月22日 [メンバー数] 12人

[活動テーマ] 影絵を通じて豊かな心の育成を願う

[活動内容] 影絵作品の制作と上演

[課題及び今後取り組んでみたいこと]

(1)課題 メンバーが平均70代となり、次世代の方への引き継ぎが一番の課題となっています。

(2)今後取り組んでみたいこと 設備等縮小して、現メンバーの体力に合った活動を模索中です。

[都生連40周年に寄せて]

40周年おめでとうございます。平成元年に開校させていただき、17年目の平成17年度、「東京のあすを創る運動推進大会」で、功労団体感謝状をいただきました。活動拠点の赤羽台西小学校、北区教育委員会、多くのご支援のお陰と感謝の気持ちで一杯です。目標が同じ仲間といろいろな場所で上演でき、その時代に成長している子ども達の姿に触れた経験全て心の財産となっています。都生連の活動は、高齢化社会において重要な役割を果たす位置にあると思ひます。益々のご発展を祈念いたします。

グリーンリンク生活学校(北区)

運営委員長 古賀由希子

[設立] 平成29年 [メンバー数] 24名

[活動テーマ] 食農共育

[活動内容] 都市生活の中で、子ども達の豊かな食経験を育む活動として、さいたま市見沼区に畑を借りて、多世代での共同農作業及び交流を行っています。作物がたくさん収穫ができた際は区内の子ども食堂へ寄付、また、野菜くずや精米のぬか茶殻コーヒークずなどの堆肥化を行い、ゴミを資源として循環することの大切さを皆で共有しながら、区内にコミュニティファームをつくるために情報交換や学習会を行っています。

[課題及び今後取り組んでみたいこと]

(1)課題 区内での活動場所を持ちたい

(2)今後取り組んでみたいこと 区内での候補地探し

[都生連40周年に寄せて]

40周年おめでとうございます!!皆様が永く取り組んできた活動を折に触れ振り返ればいつも驚くばかりです。地道に活動を続ければ道は開け、後ろを振り返れば花咲く道があると先達の活動から希望をもらっております。気候危機、海洋汚染、コロナパンデミックに子どもの生活環境とたくさんの課題がありますが、あきらめずに皆さんと歩んでいききたいと思ひます。これからも学習の企画・交流の機会などで、どうぞご鞭撻のほどお願いいたします。

北プレ外あそび生活学校(北区)

運営委員長 佐古恵子

【設立】 令和元年10月1日 【メンバー数】 8人

【活動テーマ】 外遊び

【活動内容】 ①親子外遊び企画 区内の公園で絵の具遊びや水遊び、やきいも体験など屋外遊びを開催する。

②見学会 区外で行われている子育て支援の一環で外遊びを推進している場所

【課題及び今後取り組んでみたいこと】

親の子への過干渉が今の子育ての課題の一つと考えている。本来、親が子どものやりたい気持ちを受け止めることで、子どもは自主性や主体性を発揮する体験を積み、他者と共感する力を育んでいく。このような経験は、生きる力として蓄積され、子どもが成長していく過程で必要になる。私たちは、なるべく乳幼児期に保護者にそのことを伝え、「外遊び」を通して実践していきけるようサポートしていきたい。

【都生連40周年に寄せて】

このたびは、東京都生活学校連絡協議会設立40周年を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。40年を超える歳月のなかで、教育や環境をはじめ、青少年の健全育成、子育て支援、高齢者福祉と様々な暮らしの課題に幅広く向き合ってこられたこと、心より尊敬いたします。私たちは昨年度誕生したばかりのひよっこ団体です。右も左もわからずご迷惑をおかけするかもしれませんが、今後は、みなさまの一員として、ともに活動の歴史を歩ませてください。どうぞご指導、ご鞭撻のほどを宜しくお願いいたします。



荒川生活学校(荒川区)

運営委員長 阿部乃婦

【設立】 昭和40年4月1日 【メンバー数】 34人

【活動テーマ】 「豊かで生き生きとした生涯にむけて」出来るだけ長く社会参加

【活動内容】 高齢者、認知症予防、健康体操、環境、資源回収、見学、バザー、施設見学

【課題及び今後取り組んでみたいこと】

(1)課題 新会員の募集

(2)今後取り組んでみたいこと 環境問題を学習し、出来ることを実践する。

【都生連40周年に寄せて】

荒川生活学校は、新生活運動の一環として発足し、昭和40年に開校。初代運営委員長に増渕操氏が就任されました。昭和62年に私が就任することになり、現在に至っております。都生活学校連絡協議会石井会長さん、谷茂岡会長さんの任期の時で、その間、毎回、都生連に出席したことが私にとって全てが研修の機会でした。地域のテーマ「豊かで生き生きとした生涯に向けて」に基づきながら、毎回の事業の内容を持ち帰り、見学会、講演会を実施しました。平成元年、都より、団体表彰を受賞。平成5年に重点校に指定され、区内のスーパー店主との懇談会やアンケートを実施しました。都生連の「レジ袋減らし隊」運動では、尾久、荒川生活学校の活躍によって、良い成績を残しました。尾久、荒川生活学校が共通の課題で学習、実践を続けてきましたが、尾久生活学校は閉校となりました。現在は、都生連の年間テーマに基づき、田丸会長さんのもと、年間10回「高齢者、環境、食品」問題に取り組み、開校以来のバザー、施設見学も行っております。このたびのコロナ禍により、年間行事はほとんど中止しておりましたが、再開後は、新会員の参加を図り、今までの活動を継続していきたいと思っております。

わか草生活学校(葛飾区)

運営委員長 谷茂岡正子

【設立】 昭和42年12月 【メンバー数】 30人

【活動テーマ】 地域福祉と環境問題

【活動内容】 ①地域の医療問題 ②高齢者福祉(寝たきり老人をつくらない) ③リサイクル活動 ④毎月1回のFM放送(区民にお知らせ)

【課題及び今後取り組んでみたいこと】

(1)課題 人生100年時代をどう生活(くらす)か

(2)今後取り組んでみたいこと SDGsの実践。エシカル消費の実践

【都生連40周年に寄せて】

都生連は23区、多摩の生活学校が一本化し連合会を創立。昭和53年です。早いものですね。もう40周年を迎え、大変素晴らしいことだと思います。皆様の結集は大事なことです。ご支援・ご指導いただけたことに感謝いたします。ありがとうございます。一つ苦言を申し上げます。会長、役員交代は、任期を決めて、規約に基づき会の運営をお願いします。改選は、口頭、推薦では本音が出ません。やはり選挙方式がよいかと思っておりますので、今後の参考にしてください。本当に、役員さんご苦労様でした。心より感謝しています。

くにたち生活学校(国立市)

運営委員長 住原美和子

【設立】平成23年 【メンバー数】17人

【活動テーマ】高齢者の問題、環境の問題

【活動内容】①高齢者を一人ぼっちにしない、三世代交流でひな祭りを37回やっています。②ポイ捨てやめよう！（駅頭で宣伝）③レジ袋を持って買い物へスーパー店頭で啓発

【課題及び今後取り組んでみたいこと】

(1)課題 メンバーが高齢化し、若い方のお誘いが出来ていないので悩んでいます。

(2)今後取り組んでみたいこと 生活学校の活動を大きく市民に知ってもらおうことを考えたいと思います。

【都生連40周年に寄せて】

長いような短かったような40年でございます。でもその間、いろいろな事件があったり、困難な状態が多々ありましたが、全国の生活学校の様子を毎月お知らせいただき国立市も参加させていただきながら、細々ですが今日まで小さな活動をさせていただいております。特に、この2年間は、今までにないようなコロナという厄介なウイルスによって自粛生活をし、ここのところ、ワクチンを打ったりしてわが国では感染者も落ち着きをみせており、SDGsとかCOP26とか、私たちが以前からやっております、環境問題は、今も持続してやっております。また、今月27、28日は、社協で初めて私たちの生活学校の活動を市民の皆様へアピールします。学校も少なくなってきましたが、50周年に向けて皆様頑張りましょう！！

日野第一生活学校(日野市)

運営委員長 久万千鶴

【設立】平成8年5月 【メンバー数】13人

【活動テーマ】身近な環境問題(食・ゴミ等)を含むリサイクル・リフォーム

【活動内容】環境問題、ゴミ問題(マイバッグの持参など)、水質汚染防止(合成洗剤を使わない)の取組。より良い食生活(農薬に気を付けている地場野菜を買う、食品添加物に注意するなど)の取組

【課題及び今後取り組んでみたいこと】

(1)課題 メンバーの高齢化

(2)今後取り組んでみたいこと 古い食用油から石鹸をつくり販売する、古い衣類の回収リサイクル

【都生連40周年に寄せて】

40周年おめでとうございます。2020東京オリンピック・パラリンピック、生活学校40周年記念に向けてお手玉づくりをしてきましたが、新型コロナウイルスの感染拡大により、オリンピック・パラリンピックは1年延期されて令和3年に開催されました。お手玉は、オリンピック・パラリンピックに参加する選手に記念としてお渡しする予定でしたが、ほとんどの競技が無観客で開催され、選手との接触やふれあいがないままに終わりました。結局、お手玉も手渡すことができず、残念な思いをしました。生活学校40周年は、私たちにとっても大きな節目となりますので、これを契機に、また新たに気持ちで活動に取り組んでいきたいと思っています。



平成21年～令和3年 活動点描

2009（平成21）年



2010（平成22）年





2011（平成23）年





2012（平成24）年





2013（平成25）年



援の充実をめざす
の暮らしを助けるためにー



2014（平成26）年



2015（平成27）年





2016（平成28）年



2017(平成29)年



2018(平成30)年





2019(平成31・令和元)年









2020(令和2)年





2021(令和3)年

生け花コース 経過観察時間連絡票	
経過観察時間 ☐ 15分 ☐ 30分	医師記入欄 [個別対応時に以下記入] ☐ 臥床 ☐ その他 理由 () [医師の署名] ()
【注射部位】 ☐ 左 ☐ 右	
経過観察室の退室可能時刻 17:02 時間になりましたら、この用紙を出口係員にお渡しください。	



年度別 生活学校一覧

平成19年度 61校

【千代田区】スクランブル
 【港区】麻布、高輪
 【新宿区】角筈
 【台東区】つくし
 北浅草わかば会
 【墨田区】横川、八広
 【江東区】ぬくもり
 【北区】たばた、こぼと、喜多
 堀船、あすか、紅葉、昭和町
 影絵、神谷
 【荒川区】荒川、尾久
 【大田区】蒲田、矢口下丸子
 六郷、あおば、大森、糀谷
 馬込
 【渋谷区】初台、本町、幡ヶ谷
 氷川、新橋、長谷戸、中幡
 【杉並区】汝の花、永福の会
 【板橋区】二輪草の会
 【足立区】足立区第七地区
 足立区千住、足立第一、綾瀬
 【葛飾区】わか草、ベルボラ小菅
 【江戸川区】いきいきガーデニング
 【三鷹市】二葉会、みたか虹の会
 【青梅市】空色のたねの会
 【府中市】府中市きさらぎ
 中央わんぱく学級
 【昭島市】昭島
 【町田市】玉川学園新
 【日野市】日野第一、日野第三
 【小金井市】小金井第一
 【国立市】国立市中央
 国立市西
 【多摩市】多摩、しあわせ
 【あきる野市】いずみの会
 【瑞穂町】瑞穂
 【日の出町】日の出

平成20年度 53校

【千代田区】スクランブル
 【港区】麻布、高輪
 【新宿区】角筈
 【台東区】つくし
 北浅草わかば会
 【江東区】ぬくもり
 【北区】たばた、こぼと、喜多
 堀船、あすか、紅葉、昭和町
 影絵、神谷
 【荒川区】荒川、尾久
 【大田区】蒲田、矢口下丸子
 六郷、あおば、大森、糀谷
 馬込
 【渋谷区】初台、本町、幡ヶ谷
 氷川、新橋、長谷戸、中幡
 【杉並区】汝の花、永福の会
 もったいない倶楽部
 【葛飾区】わか草、ベルボラ小菅
 【江戸川区】いきいきガーデニング
 【三鷹市】二葉会、みたか虹の会
 【青梅市】空色のたねの会
 【府中市】府中市きさらぎ
 中央わんぱく学級
 【日野市】日野第一、日野第三
 【小金井市】小金井第一
 【国立市】国立市中央
 国立市西
 【多摩市】多摩、しあわせ
 【あきる野市】いずみの会
 【瑞穂町】瑞穂
 【日の出町】日の出

平成21年度 49校

【千代田区】スクランブル
 【港区】高輪
 【新宿区】角筈
 【台東区】つくし
 北浅草わかば会
 【江東区】ぬくもり
 【北区】たばた、喜多、堀船
 あすか、紅葉、昭和町、影絵
 神谷
 【荒川区】荒川、尾久
 【大田区】蒲田、矢口下丸子
 六郷、あおば、大森、糀谷
 馬込
 【渋谷区】初台、本町、幡ヶ谷
 氷川、長谷戸、中幡
 【杉並区】汝の花、永福の会
 もったいない倶楽部
 【葛飾区】わか草、ベルボラ小菅
 【江戸川区】いきいきガーデニング
 【三鷹市】二葉会、みたか虹の会
 【青梅市】空色のたねの会
 【府中市】府中市きさらぎ
 【日野市】日野第一、日野第三
 【小金井市】小金井第一
 【国立市】国立市中央
 国立市西
 【多摩市】多摩、しあわせ
 【あきる野市】いずみの会
 【瑞穂町】瑞穂
 【日の出町】日の出



平成22年度 40校

【新宿区】 角筈
 【台東区】 つくし
 北浅草わかば会
 【北区】 たばた、喜多、堀船
 あすか、紅葉、影絵
 【荒川区】 荒川、尾久
 【大田区】 蒲田、六郷、あおば
 大森、糀谷、馬込
 【渋谷区】 初台、本町、幡ヶ谷
 氷川、長谷戸、中幡
 【杉並区】 汝の花、永福の会
 もったいない倶楽部
 【葛飾区】 わか草、ベルボラ小菅
 【三鷹市】 二葉会、みたか虹の会
 【青梅市】 空色のたねの会
 【日野市】 日野第一、日野第三
 【小金井市】 小金井第一
 【国立市】 国立市中央
 国立市西
 【多摩市】 多摩、しあわせ
 【あきる野市】 いずみの会
 【瑞穂町】 瑞穂
 【日の出町】 日の出

平成23年度 38校

【新宿区】 角筈
 【台東区】 北浅草わかば会
 【北区】 たばた、喜多、堀船
 あすか、紅葉、影絵
 【荒川区】 荒川、尾久
 【大田区】 六郷、あおば、大森
 糀谷、馬込
 【渋谷区】 初台、本町、幡ヶ谷
 氷川、長谷戸、中幡
 【杉並区】 汝の花、永福の会
 もったいない倶楽部
 【葛飾区】 わか草、ベルボラ小菅
 【三鷹市】 二葉会、みたか虹の会
 【青梅市】 空色のたねの会
 【日野市】 日野第一、日野第三
 【小金井市】 小金井第一
 【国立市】 くにたち
 【多摩市】 多摩、しあわせ
 【あきる野市】 いずみの会
 【瑞穂町】 瑞穂
 【日の出町】 日の出

平成24年度 38校

【新宿区】 角筈
 【台東区】 北浅草わかば会
 【江東区】 ぬくもり
 生活・環境グループさざんか
 【北区】 たばた、喜多、堀船
 あすか、影絵
 【荒川区】 荒川、尾久
 【大田区】 六郷、あおば、大森
 糀谷、馬込
 【渋谷区】 初台、本町、幡ヶ谷
 氷川、長谷戸、中幡
 【杉並区】 汝の花
 もったいない倶楽部
 【葛飾区】 わか草、ベルボラ小菅
 【三鷹市】 二葉会、みたか虹の会
 【青梅市】 空色のたねの会
 【日野市】 日野第一、日野第三
 【小金井市】 小金井第一
 【国立市】 くにたち
 【多摩市】 多摩、しあわせ
 【あきる野市】 いずみの会
 【瑞穂町】 瑞穂
 【日の出町】 日の出

平成25年度 37校

【新宿区】 角筈
 【江東区】 ぬくもり
 生活・環境グループさざんか
 【北区】 たばた、喜多、堀船
 あすか、影絵
 【荒川区】 荒川、尾久
 【大田区】 六郷、あおば、大森
 糀谷、馬込
 【渋谷区】 初台、本町、幡ヶ谷
 氷川、長谷戸、中幡
 【杉並区】 汝の花
 もったいない倶楽部
 【葛飾区】 わか草、ベルボラ小菅
 【三鷹市】 二葉会、みたか虹の会
 【青梅市】 空色のたねの会
 【日野市】 日野第一、日野第三
 【小金井市】 小金井第一
 【国立市】 くにたち
 【多摩市】 多摩、しあわせ
 【あきる野市】 いずみの会
 【瑞穂町】 瑞穂
 【日の出町】 日の出

平成26年度 39校

【新宿区】 角筈
 【江東区】 ぬくもり
 生活・環境グループさざんか
 KIMAMA、12Berries
 のびのびぞうさんクラブ
 かんがるーぼけっと
 【北区】 たばた、喜多、堀船
 あすか、影絵
 【荒川区】 荒川
 【大田区】 六郷、あおば、大森
 糀谷、馬込
 【渋谷区】 初台、本町、幡ヶ谷
 氷川、長谷戸、中幡
 【杉並区】 汝の花
 もったいない倶楽部
 【葛飾区】 わか草、ベルボラ小菅
 【三鷹市】 みたか虹の会
 【青梅市】 空色のたねの会
 【日野市】 日野第一、日野第三
 【小金井市】 小金井第一
 【国立市】 くにたち
 【多摩市】 多摩、しあわせ
 【あきる野市】 いずみの会
 【瑞穂町】 瑞穂
 【日の出町】 日の出

平成27年度 34校

【新宿区】 角筈
 【江東区】 ぬくもり
 生活・環境グループさざんか
 12Berries
 【北区】 たばた、喜多、堀船
 あすか、影絵
 【荒川区】 荒川
 【大田区】 六郷、あおば、大森
 糀谷、馬込
 【渋谷区】 初台、本町、幡ヶ谷
 氷川、長谷戸、中幡
 【杉並区】 汝の花
 もったいない倶楽部
 【葛飾区】 わか草、ベルボラ小菅
 【三鷹市】 みたか虹の会
 【日野市】 日野第一、日野第三
 【小金井市】 小金井第一
 【国立市】 くにたち
 【多摩市】 多摩、しあわせ
 【あきる野市】 いずみの会
 【瑞穂町】 瑞穂

平成28年度 32校

【新宿区】 角筈
 【江東区】 ぬくもり
 生活・環境グループさざんか
 12Berries
 【北区】 たばた、喜多、堀船
 あすか、影絵
 【荒川区】 荒川
 【大田区】 六郷、あおば、大森
 糀谷、馬込
 【渋谷区】 初台、本町、幡ヶ谷
 氷川、長谷戸、中幡
 【杉並区】 汝の花
 もったいない倶楽部
 【葛飾区】 わか草
 ベルボラ小菅
 【日野市】 日野第一、日野第三
 【国立市】 くにたち
 【多摩市】 多摩、しあわせ
 【あきる野市】 いずみの会
 【瑞穂町】 瑞穂

平成29年度 27校

【新宿区】 角筈
 【北区】 喜多、堀船、あすか
 影絵、滝西、私の畑
 【荒川区】 荒川
 【大田区】 六郷、あおば、大森
 糀谷、馬込
 【渋谷区】 初台、本町、幡ヶ谷
 氷川、長谷戸、中幡
 【杉並区】 汝の花
 【葛飾区】 わか草
 【日野市】 日野第一
 【国立市】 くにたち
 【多摩市】 しあわせ
 【あきる野市】 いずみの会
 【瑞穂町】 瑞穂

平成30年度 25校

【新宿区】 角筈
 【北区】 喜多、堀船、あすか
 影絵、滝西、私の畑
 【荒川区】 荒川
 【大田区】 六郷、あおば、大森
 糀谷、馬込
 【渋谷区】 初台、本町、幡ヶ谷
 氷川、長谷戸、中幡
 【杉並区】 汝の花
 【葛飾区】 わか草
 【日野市】 日野第一
 【国立市】 くにたち
 【多摩市】 しあわせ
 【あきる野市】 いずみの会
 【瑞穂町】 瑞穂

令和元年度 25校

【新宿区】 角筈
 【北区】 喜多、あすか、影絵
 滝西、私の畑
 【荒川区】 荒川
 【大田区】 六郷、あおば、大森
 糀谷、馬込
 【渋谷区】 初台、本町、幡ヶ谷
 氷川、長谷戸、中幡
 【杉並区】 汝の花
 【葛飾区】 わか草
 【日野市】 日野第一
 【国立市】 くにたち
 【多摩市】 しあわせ
 【あきる野市】 いずみの会
 【瑞穂町】 瑞穂

令和2年度 21校

【新宿区】 角筈
 【北区】 喜多、あすか、影絵
 グリーンリンク、北プレ外あそび
 【荒川区】 荒川
 【大田区】 六郷、あおば、大森
 馬込
 【渋谷区】 初台、本町、氷川
 長谷戸、中幡
 【杉並区】 汝の花
 【葛飾区】 わか草
 【日野市】 日野第一
 【国立市】 くにたち

令和3年度 19校

【北区】 喜多、あすか、影絵
 グリーンリンク、北プレ外あそび
 【荒川区】 荒川
 【大田区】 六郷、あおば、大森
 馬込
 【渋谷区】 初台、本町、氷川
 長谷戸、中幡
 【杉並区】 汝の花
 【葛飾区】 わか草
 【日野市】 日野第一
 【国立市】 くにたち



東京都生活学校連絡協議会 40周年記念実行委員会報告

戦後76年、今年度令和3年第2回目の東京オリンピック・パラリンピックが、コロナ禍の中、1年遅れで無観客の中開催されました。今から57年前、昭和39年10月10日戦後第1回目の東京オリンピック・パラリンピックが実施されました。当日は、浜松基地から飛び立った航空自衛隊のブルーインパルスが青空に五輪の輪を天覧席の両陛下がご覧になる前で見事に描かれました。戦時中は海軍航空隊「紫電改・第343航空隊」(剣部隊)であるが、戦後は航空自衛隊に転属「ブルーインパルス」として、「平和の祭典」の象徴として表舞台に戻ってきました。また、パラリンピックは東京オリンピックから公認(設立は4年前の1960年)され、それ以来、オリンピック・パラリンピックは同時に開催されるようになりました。

さて、生活学校は、2年間にわたりコロナ禍の中、各生活学校で作っていただいたお手玉を「おもてなし」精神でアスリートの皆様にお持ち帰りいただくようご用意しましたが、お渡しできませんでした。コロナウイルスの感染が拡大し、オリンピックも無観客で開催されました。また、7月26日開催予定だった「40周年式典・祝賀会」も延期になりましたが、40周年記念行事として、気象科学館の施設見学会や2回の講演会は感染防止を徹底し、実施しました。記念誌については、オリンピックまでは五輪に因んだ冊子とする予定で、1.子ども食堂・フードドライブ、2.防災・防犯、3.環境・健康、4.物づくり、5.身近な政治の1から5まで色を付けた冊子(各学校が一番メインにしている活動を1から5までのところに明記してもらって内容をまとめる)にする予定でしたが途中で中止。その後、改めて実行委員会を再開。記念式典と祝賀会は、令和4年2月8日に挙行。記念誌は従来どおりの記念誌を作成することに決まりました。

各生活学校の皆様から原稿をいただき、事務局長をはじめ事務局の皆様にご協力をいただきながら2月8日の記念式典・祝賀会に向け準備をしていましたが、11月下旬から感染力の強いオミクロン株が流行し、1日の感染者数が1万人以上と拡大の一途をたどり、記念式典・祝賀会は、やむを得ず中止することとなりました。なお、記念誌は予定どおり発行する事に致しました。また、この間、記念式典・祝賀会会場の設定や設備、スケジュール調整、出演者の控室、ピアノ音合わせ・調律時期、横断幕のデザイン、出演者が会場で実際にピアノを弾き、声出しなど、北区の担当者と綿密な打ち合わせをしましたことをご報告申し上げます。

式典・祝賀会、記念誌実行委員会 委員長: 田丸せつ子

熊代聖子、三原庸子、武田春子、手塚澄子、久万千鶴、小紫貴子、梶 薫、國定智恵子、本山久子

準備委員会開催日程

- (令和2年) 6/11、26 7/20、27 北トピア見学 9/17 気象科学館見学(都生連・事務局)
9/28 9/30 10/8 次の記念事業の企画委員会
10/9 10/19 11/2 講演会講師の小島あずさ氏と打合せ
11/16 講演会「プラスチックによる海洋汚染～私たちにできること」講師:小島あずさ氏
11/25 11/26 11/27 都生連だより発行打合せ
12/10 12/25 二重橋 楠公レストラン見学
- (令和3年) 1/5 都生連だより内容企画、観劇会の中止決定
1/21 2/10 新宿:角筈生活学校を訪問(田丸会長・三原副会長)
3/10 3/17 3/21 赤羽会館にてお手玉製作、「来た KITA 学び合いフェスタ」にてお手玉プロジェクト紹介(都生連出席) 3/24 同フェスタに田丸会長オンライン出席
3/25 飛鳥山博物館施設見学(三原副会長・藤本事務局長)
3/29 3/31 4/2 4/5 4/6 北トピア訪問(北区担当者と打合せ)
4/9 4/14 4/15 4/19 役員打合せ 5/14 総会準備、役員・実行委員打合せ
5/17 北トピア訪問(記念式典・祝賀会準備。北区担当者打合せ)
5/18 北トピア訪問(祝賀会当日進行。北区担当者と打合せ)
5/25 5/29 6/3 6/8 実行委員会(記念式典延期)
6/14 各生活学校に記念式典延期報告 6/17 6/30 7/26 40周年記念式典中止
8/31 総会中止 総会資料送付 10/6 10/14 実行委員会(記念誌)
10/25 11/15 12/3 実行委員会(40周年記念事業講演会の企画)
12/10 講演会「地球環境の保全に向けて」講師:菅原良氏
12/20 打合せ(記念誌について) 12/23 実行委員会
- (令和4年) 1/14 役員会 1/28 打合せ(記念誌) 2/8 40周年記念式典中止
3/22 役員会(令和4年度年間計画、記念誌)

40周年記念事業

記念事業 「気象科学館の見学 日本の四季・自然 気象を体感しながら防災や減災を学ぶ」

日時 令和2年9月17日(木) 場所 気象科学館

記念講演会 「プラスチックによる海洋汚染～私たちにできること～」

日時 令和2年11月16日(月)13:30～15:30

場所 東京都消費生活相談センター17階教室Ⅰ・Ⅱ

講師 一般財団法人JEAN事務局長 小島あずさ氏

記念お手玉プロジェクト 「1年遅れのオリンピック・パラリンピックに向けて～来たKITA学び合いフェスタお年玉プロジェクト」

日時 令和3年3月21日(月)13:30～15:30 場所 北区赤羽会館

記念事業 NHK大河ドラマ「青天を衝け」の世界 施設見学

日時 令和3年3月25日(月)13:30～15:30 場所 飛鳥山博物館(北区飛鳥山公園内)

記念講演会 「地球環境の保全に向けて～バイオマスを活用した様々な取組～」

日時 令和3年12月10日(金)14:30～16:00

場所 東京都消費生活相談センター16階学習室

講師 一般財団法人日本有機資源協会事務局次長 菅原 良氏

記念誌発行 「東京都生活学校連絡協議会40周年」発刊 令和4年6月

編集後記

東京都生活学校連絡協議会40周年を迎えるに当たり、ご多忙中にもかかわらずご寄稿くださいました皆様に厚く御礼申し上げます。また、40年間繋いでくださった多くの先輩方に深く感謝申し上げます。

令和元年12月、中国武漢に端を発した新型コロナウイルスは感染力が強く、世界中が蔓延の渦に巻き込まれました。昨年11月には、もっと感染力の強い変異株のオミクロン株が増強(現在は、オミクロン株の一種で、感染力がさらに高いとされる BA.5 が流行)してきている様です。

東京オリンピック・パラリンピックは、無観客で開催されましたが、都生連が7月26日に挙行予定であった式典・祝賀会は延期となり、記念誌についても途中で断念することとなりました。その後、コロナ禍が減少してきたので3回目の申込みを令和4年2月8日に設定するとともに、記念誌については従来どおりの内容に切り替えて、各生活学校の皆様方に活動内容を寄稿していただきました。当日の式典・祝賀会は、担当の方と連絡を取り合っており、すぐに用意はできるようになっておりましたが、11月下旬からのオミクロン株の蔓延により、またもや記念式典は中止せざるを得なくなりました。このため、実行委員会は、記念誌を作成の上、送付することといたしました。

コロナ禍収束の兆しは未だに見えませんが、生活学校活動は、現在の社会状況を踏まえた内容となるよう考えながら継続していくことが大切だと思います。また、地域の団体の中で唯一政治と結びついている団体は生活学校だけです。地域の防災・防犯・環境問題・その他あらゆることに関わり合いながら活動できる生活学校です。地域のためにより良い活動となるよう、ご協力をお願いいたします。

記念誌作成に当たりまして、多くの方々のご協力をいただきました。心より御礼申し上げます。ありがとうございました。





令和4年6月発行